

Via Latina 22



229号 2014年2月

総本部よりのお知らせ—マリア会

インド、ラーンチーでの 終生誓願式

インド従属地区は、2013年12月29日の聖家族の祝日に、マリア会ブラザーたちの終生誓願式を執り行いました。Anup Kullu, K. Kumaraswamy, Renny Markose, Sudhir Soreng の4名です。このブラザーたちの家族と友人たちは、Jharkhand州Ranchi近くの修練院であるNirmal Deep 共同体に、マリアニストの信徒、ブラザー、シスターたちと一緒に集まりました。Ignase Arulappen師がミサを司式しDave Fleming師が説教を行いました。従属地区長のAugustus Surin士が誓願を受け入れ、Paul Marshall師がアメリカ管区本部を代表しました。Chennaiah Polishetty士が式典の責任者を務め、James Dungdung師が聖歌隊を指揮しました。ミサの終わりにRenny士、Anup士、Augustus士は（インドの）幾つかの言葉で感謝の挨拶を行いました。



Bros. Renny, Anup, Sudhir and Kumar.

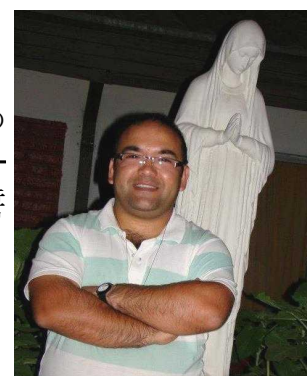


ペルーでの初誓願

2013年12月15日、Percy García Carbajal士はマリア会員としての初誓願を立てました。初誓願式のミサはCallaoにある“贖い主の母マリア”小教区で捧げられましたが、そこはPercy士が長い間働いた小教区でした。ペルーマリア会のブラザーや司祭全員とPercy士の親戚や友人たちがこの式に参列しましたが、Percy士は、自分のマリア会入会とマリア会の養成のこの重要な段階にあたって、見るからに喜びに溢れていました。

チリでの初誓願

2013年12月12日、チリのサンチャゴで、Carlos Antonio Espinoza Diaz士の初誓願式がありました。





Bro. Minyoung Ki makes his vows in the presence of Fr. Pablo Rambaud (Novice Director; left) and Fr. Francis Chang (Regional Superior; right)

韓国での初誓願

1月22日、私たちの創立者、福者シャミナードの祝日に、韓国地区マリア会の**Ki Minyoung Michael**士がソウルで初誓願を立てました。韓国地区長のFrancis Chang師は誓願を受け入れました。Michael士の母、姉妹、親戚の人々も、韓国地区の大勢のマリア会員と共に出席しました。彼の修練長であるスペイン管区のPablo Rambaud師、及び養成担当者であるインド地区のOscar Kerketta士も式に出席しました。MinyoungはDavaoで修練期を行いました、フィリピンの創設体が閉鎖になったので、後半の数か月は韓国のMokpoで過ごしました。Minyoung士は近いうちにインチョン共同体に加わり、高齢者を支援するシャミナードセンターで奉仕活動を行います。私たちはこの新たな誓願宣立を喜び、韓国地区とMinyoung士にお祝いを申し上げます。

ローマでの助祭叙階式

1月11日に、シャミナード国際神学校の5名のブラザーがマリア会の助祭に叙階されました。ブラザーたちはインドの**Arul Raj Maria Francis**、**Jinu Muthukattil Devasia**、韓国の**Ilkyu Bosco Shin**、そしてトーゴの**Jonas Hodabalo Kpatcha**と**Robert Tchakpala Sidakou**の5名で、教理省長官でイエズス会のFrancisco Ladaria司教によって助祭に叙階されました。

国際神学校校長のFrancisco Canseco師は、Ladaria司教の説教をうけて、“助祭”という言葉は奉仕を意味する。それは名誉ではなく奉仕である。イエスのように彼らは奉仕者となり、宣教活動において自分たちを助けてくれる聖霊の賜物を頂く”と述べました。“私は奉仕と自己犠牲を実行する力を与えてくださった主に感謝致します。”



Jinu, Jonas, Robert, Arul and Bosco with the Bishop.

インドでの司祭叙階式

2014年1月22日、シャミナード師の祝日に、**Gunja Chittibabu**、**Nitta Prasad**、**Polishetty Channaiah**の3名がBangaloreのDeepahalliにてBangaloreのBernard Moras大司教によって司祭に叙階されました。このお祝いに彼等の同僚、家族の皆さん、マリアニスト家族の人たちが集まりました。Deepahalliの教育センターのスタッフBangaloreのREDS、DeepahalliのREDS、REDSの少年たちや友人たちも加わりました。従属地区長Augustus Surin士が出席者にこれまでの支援と式への参列への感謝を表しました。



メキシコ従属地区の再構築



Provincial Fr. Martin Solma, SM (2nd from the left, back row), with members of the Sector.

マリア会内部のゾーン再構築の一環として、メキシコ従属地区は2014年1月1日付でアメリカ管区の特別地区となりました。生活の規則7-115条に従い、また、地区会員と総本部との話し合いで、管区本部はこの決定がメキシコのマリア会の現状をよりよく反映するものと判断しました。現在、この地区は11名のメキシコ人と2名のアメリカ人とで構成されています。マリア会総長は総長評議員会の合意を得てこの変更を承認し、引き続き、この新しい特別地区の規約を承認しました。この新たな再構築の結果、メキシコのマリア会は中南米ゾーン会議 (CLAMAR) ではなく、北米ゾーン会議に加わるようになります。

しかし、メキシコの修練者は初期養成をチリのサンチャゴにある修練院で継続することになります。

キューバのマリア会員

Javier Anso士からの便り

“スペインのマリアニストはマリア会のキューバ渡来10周年を祝いました。2つのマリアニスト共同体がありそれぞれ3名のマリア会員が居ます。1つはCamaguey教区に、もう1つはPinar del Rio教区にあります。”

2003年1月16日、3名の最初のマリア会員がキューバに到着しました。その年4月に、キューバの中心部にあるCamaguey 県、Camaguey 教区の“Vertientesの不思議のメダイ”小教区を担当しました。

2010年に、ハバナから40キロほど離れたPinard el Rio教区のMarielに、1つの共同体が設立されました。私たちは3名のブラザー、3名の司祭の6名で、2つの共同体にそれぞれに3名ずつ属しています。

私たちは、キューバ社会が最高の価値において発展するのに役立ち、また、教育の分野で活動したいと望んでいます。私たちは学校で教える許可は得ていませんが、教育雑誌に寄稿し、また、教師、神学生、助祭の養成にも参加したいと思っています。私たちの祈りと努力は既に実を結びつつあります。なぜなら、私たちは1人の若者を修練を始めるためにスペインに送っているからです。更に他の3名の若者に、近い将来、修練期を始めることを考えるよう勧めています。



Marianist Brothers in Cuba in front of the Cathedral of La Habana.

第六回信徒マリアニスト共同体世界会議、 リマで開催



ペルーのリマに、世界信徒マリアニスト共同体の66名ほどの代表が集まり、第6回世界大会を開催しました。ラテンアメリカのマリアニスト、特にリマのマリアニストに主催者の労を取って頂き、各地からの代表者や招待者は“世界の只中で心の信仰を生きる”というテーマを探究しました。会議は喜びと一致で満たされていましたが、同時に、今後数年間の国際的リーダーシップチームを選出し、彼らの仕事の

方向性を設定する機会ともなりました。

会議の焦点は、信仰の中心としての“心”にありましたが、同時に、それは、マリアニスト家族全体の中心に、特に、信徒マリアニストと家族の間に存在する豊かな文化と信仰の表現の祝いでもありました。Manuel Cortés総長とAndré Fétis霊生局長は、ラテンアメリカや他の地域の会員と共に、マリア会を代表して出席していました。Sr. Franca Zonta総長とSr. Ana Lúcia Góes教育局長は、他の会員と共に、汚れなきマリア修道会（FMI）を代表して出席していました。エクアドルのSonia Galarza がアリアンス・マリアル（AM）を代表して出席していました。この会議は本当に“マリアニスト家族”の行事でした。

皆さんにこの素晴らしい集いの写真をいくつかお見せします。また、下記のFacebookを参照するようお願いいたします。

<https://www.facebook.com/pages/International-Organization-of-Marianist-Lay-Communities/265366880170410>
[https://www.facebook.com/marianistaslatinoamerica/photos_albums ...](https://www.facebook.com/marianistaslatinoamerica/photos_albums...)



Leadership of MLC-CLM



Via Latina22の3月号でこの集まりについて更に詳しい報告を行います。この集まりと参加者のことを心に留めて祈りましょう。



André Fétis, SM
and Franca
Zonta, FMI (left);
Manuel Cortés, SM
(above)



メールアドレス変更

- Fr. Robert Bouffier (US):
rjbouffier@gmail.com
- Bro. Ken Jung (US):
kjung22@hushmail.com
- Fr. Paul Neumann (US):
pneumannsm@outlook.com
- Bro. Steven O'Neil (US):
sponeilsm@gmail.com
- Fr. Joseph Rasky (US):
jrasky@gmail.com
- Fr. Christopher Wittmann (US):
cwittsm@gmail.com
- Bro. Juan Manuel Azamar (US-Mx):
azamar.sm@gmail.com

総本部からの 最近の通信

- 訃報：#1 - 5
- 1月22日（福者シャミナー
ド師の命日）：**SM三部
門#139** 2014年マリアニ
スト使徒活動についての
調査結果が3つの公式言語
での発表され、教育局長
マクシム・マグナン士か
ら全ての行政単位の責任
者と教育部長送付されま
した。

総本部日程

- 1月17日－2月3日：MCがCLAMAR,
CLM・MLCペルー会議に出席
- 1月25日－2月3日：AFがCLM・MLC
ペルー会議等に出席
- 2月7日－2月19日：MMcがSan
Antonio, Texas, New York訪問
- 2月13日－15日：AFとEddie
Alexandre師がローマのシャミ
ナード国際神学校訪問
- 2月26日－28日：MMcがスペイ
ンマドリッドでのマリア会
Patronato会議に出席
- 2月27日－4月8日：総長評議員全
員がスペイン管区を訪問



マリア会通史

Antonio Gascon師は、1905年Simler師の死後から始まり1930年台初頭まで続く、Hiss師とSorret師の足跡を辿る、973ページにわたるこの新しい巻を上梓します。これらの足跡は、マリア会の諸活動と問題、教会と世界に関わる生活の28年間の物語です。

Cover of volume III/1 of *Historia general de la Compañía de María*.

